



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物については、廃棄物処理施設技術管理者講習、産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会等、有害物質については、特定化学物質主任作業員、有機溶剤作業主任者等を取修了したの下に適切な管理、処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・省エネタイプのエアコンを導入したり、節電意識を啓発している。 ・また、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量の算出しており、常にハード・ソフト両面で使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車のハイブリッド車化、省エネタイプのエアコンの導入、節電意識の啓発を図っている。 ・また、簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、常にハード・ソフト両面から排出量削減に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・森林事業部(林業及び木質リサイクル業)の業務において、伐採、間伐、植林、枝・根等の木質チップ製造により森林資源の循環活動を行っている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・森林事業部(林業)開設時より森林再生を推進し、森林資源のリユース・リサイクルに取り組んできた。また、2020年に木質リサイクル事業(発電燃料チップ製造)を開設し効率的な森林資源利用に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内活動の一環として、節水の表示、トイレ流水の自動化等、量的保全に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙(名刺等)の使用に取り組んでいる。												9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2024年12月までに、社内で3010運動に取り組む。		1	2				6.4								12.3	14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・森林事業部の活動を通して森林保全活動(全伐・間伐・植林・木質リサイクル等)に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・森林事業部の事業活動を通して、再生可能エネルギーの原料供給(木質チップ)に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・森林事業部の活動を通して森林保全活動(全伐・間伐・植林・木質リサイクル等)に取り組んでいる。							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・森林事業部の活動を通して森林保全活動(全伐・間伐・植林・木質リサイクル等)に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車のハイブリッド車化に取り組んでいる。また、将来的に自動車のEV化への対応も引き続き検討を進める。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・森林事業部の活動を通して、再生可能エネルギー原料供給(木質チップ)に取り組んでおり、カーボンニュートラルを目標にクレジット購入又は販売の実施の検討を進めていく。								7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

